

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	放課後等デイサービス のこのこ		
○保護者評価有効回答数	令和8年2月1日		～ 2008年2月28日
○従業者評価実施期間	(対象者数)	32人	(回答者数) 27人
○従業者評価有効回答数	令和8年2月1日		～ 2008年2月28日
○事業者向け自己評価表作成日	(対象者数)	8人	(回答者数) 8人

○ 分析結果

	事業所の強み(※) と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫している	週での利用契約となっている為、食レク、外出、運動療育、音楽療育、ゲーム等偏りなく様々な活動を経験できる機会を持てるように工夫しています。	活動に参加してもらった時の子供の様子や、できた事・できなかった事等を特性を考慮した話し合いを行い、次に向けて継続的に行う事をより良い方法でできるように、日々検討していきます。またその為に職員のスキルUPを図っていきます。
2	色々な資格を有する職員で支援を行っている	教員、保育士、看護師、児童指導員等各種資格を有した職員が専門的観点から特性を持ったお子様に対する支援の方法を多角的に考え支援しています。	それぞれの視点を持ちつつ、子供達と一緒に楽しみ、遊び方や支援方法をチームとして考えていく体制づくりをさらに行っていきます。
3	疾患的に不安をお持ちのお子様に対しても不安を感じる事なく楽しく過ごして頂くことができる	看護師が在籍していることに加え、同法人内の訪問看護ステーションと連携を図り、疾患をお持ちのお子様も不安を感じる事なく楽しく過ごして頂くことができるよう取り組んでいます。	同法人内訪問看護ステーションとの連携の強化、また発作や緊急時の対応方法について勉強会の場を設け放課後等デイサービス職員も緊急時の対応ができるよう日々研鑽していきます。

	事業所の弱み(※) と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者アンケートの結果から、保護者同士が交流する場を設けることができていない事に課題があることが考えられます。	保護者の中にも「必要性を感じる」というご意見と「必要性を感じない」というご意見とがあり、どのような形で実行できるか考えてはいたが現在まで保護者同士の交流の場を設けることができていなかった。	色々な形で実施されている他事業所の実施方法を参考に、保護者同士の交流の場としてどういったように実施するのがよいか前向きに検討していきます。
2	障害特性による個人差がある	幅広い障害の程度・特性をお持ちのお子様がおられる為、集団療育の中で取り組む内容を一人一人に合わせる事が難しい取り組みがある。	同じ活動でも、中身の工夫で全員が取り組めるような活動内容を設定する。少しでも達成感を味わえるような活動を考えます。
3	保護者アンケートの結果から、マニュアルの整備状況や研修実施の周知について課題があることが考えられる	各種情報の周知については、契約時にお伝えしていますが、継続的に説明・周知することはしていなかった為、不十分であったと考えます。	今後はマニュアル等は希望があればいつでも閲覧できるような環境を整えていきます。また研修や各種訓練等の実施、様子についてはモニタリング時やHPを通して周知してもらえよう説明いたします。